

“至 誠”（新たなる歴史に向けて）

校長便り 2018年度 第9号

1. 1年間の締めくくりに

2月7日には高校入試の前期選抜が終了し、来年度の入学生（今度の1年生からは商業科5クラス、情報マネジメント科1クラスの6クラス240名の入学になります）の約半数が内定しました。

皆さんがその中心になっている時代の社会はこのままいけば、おそらく大変な格差社会になっていると言われていています。アメリカではAIやロボットなどの発達によって、現在ある職業の2/3はなくなる、あるいは現在の半分の仕事は機械にとってかわられる、と言われていています。日本でも野村証券の発表した「将来なくなる職業の候補リスト」は（本当にそうなるかどうかは別にしても）、大きな衝撃を日本の社会に与えました。

指示されたことをその指示通りに行う人、だれがやっても同じ仕事は機械にとってかわられるわけですからそのような人たちの仕事がなくなってしまう。あるいは仕事が残っても、安い賃金で働かなければならないというわけです。一方で、人間にしかできない、自分で（あるいは仲間と共同で）考えて、課題を発見し問題を解決する力を持った者だけが生き残り、その能力が高い者が高い収入を得ることができるとも言われています。現在でもすでに格差が開いてきていると言われていているのに、こうなればいよいよ日本においても本格的な格差社会の到来です。でも、本当にこんな社会がいいのでしょうか。

いつも話すことですが、皆さんは基本的に幸せだと思います。それは経済的に高校や大学に行ける、家庭や学校などで恵まれた教育環境にいる、という環境面も大きいですし、ポテンシャルとして高い情報処理能力を持っていることも大きなポイントです。もちろん、先ほども書いたように環境や情報処理能力があるだけでは、勝ち残ることはできませんが、これらを持っていることは問題を発見し解決する能力を向上させるためのベースになります。あとは様々な教育活動（授業、特別活動、外部連携）を通じて「主体的、対話的な深い学び（アクティブラーニング）」を実践し、考え行動することができれば「30年後を生き抜く力」を身に着けることができるでしょう。

しかし、世の中にはそのような環境やポテンシャルに恵まれない、その結果、未来に必要な力を持ってないまま社会に出ていく人たちがたくさん存在します。そのような状況でも真面目に頑張っている人、誠実に仕事をやっている人たちが（私は真面目さ、誠実さは日本の美德だと思います）、「君たちは社会に必要な力をつけられなかったからしよ

うがないじゃない」と切り捨てられ、格差社会の下位に位置づけられるだけでいいのでしょうか。少なくとも、私はそんな未来の日本の姿は望みません。ある程度の格差ができるのは仕方がないと思います。でも、未来の日本が「ひとり一人をたいせつに」「誰も置き去りにしない」社会であること、そのためには恵まれた環境、ポテンシャルを持った人たちが「自分が幸せになる」とともに、「他の人も幸せにする」。そんな想いをもった「大人」に育ってくれることを願います。

もちろん、皆さんのすべてがそうならなければいけない、というわけではありません。中にはポテンシャルはあっても「精神的にそんな余裕がない」人も、そもそも、「自分のことは自分の自己責任でやれよ」との考えの人もいるでしょう。しかし、私は「世のため、人のため」に、との「高い志」を持って未来社会を生き抜く、そのような能力と想いを持った生徒をひとりでも多く育てたいと考えていますし、そのような生徒を育てられる四日市商業高校にしていきたいと思います。

2. 交通マナー、交通ルールを守ろう！

いつも話したり書いたりしているように、本校の「至誠」の精神の基づいた教育は素晴らしいし、人格形成においても大きな力をつけてもらっていると思います。謙虚さ、場にあった言動、気配りなど地域の人たちの評価が高いのもうなずけます。だからこそ新たな将来社会に必要な資質・能力を加えていくことが余計に大切になってきます。とりわけ主体性を持った大人になっていくことは大きな課題だと私は感じています。そのための「気づき」、「人のためという気持ち」、「積極的に経験を積み振り返りによって新たな力をつけること」を実践して行ってほしいと卒業式でもお話をしました。皆さんは「気配り」ができるから言われたこと、教えられたことを素直に実践する力には優れています。しかし、「気づき」が不十分なゆえに、知らず知らずのうちに人に迷惑をかけていたりすることはあるのではないのでしょうか。

その一つがテーマにも書いた「交通ルール、マナーを守る」ことです。もちろん、この中には電車やバス等の公共交通機関でのマナーも含まれます。皆さんは通常、徒歩か自転車で移動することが多いでしょうから自動車等を運転する人のことは想像がつきにくいかもしれません。しかし、ここ何年か、高校生の自転車事故の増加は顕著です。私の経験でも信号待ちで信号が変わった途端、自転車の高校生が車の前を突然横切って…。もう一瞬早くスタートをしていたら「絶対よけきれなかっただろう」とひやりとすることがありました。ぜひとも歩いている人や車の運転者等の状況を察して安全に登校・下校してください。学校の近くでは神明神社付近の四つ辻、生桑の交差点付近、久保田の窪田神社、カーマホームセンターの付近などは特に危険性の高いところで、地域の方々からもたびたび注意を喚起されています。仮にひとり一人がキチンとしていても大勢が

集団になることで危険が増したりほかの人の迷惑なったりすることもあります。高齢者の方など皆さんと同じスピードで移動することが困難な方たちも大勢いることも想像できるようにしてほしいと思います。

(3月13日)